

令和4年度 木曾町立開田中学校 学校自己評価 年間まとめ

学校教育目標		重点目標(中期目標)			成果と課題, 改善策		学校評議員からの評価
御嶽を仰ぎ自ら高める 学び 友と 開け		○学び ・学習習慣の確立と学習内容の確かな定着 ・個別最適化された指導 ・授業のユニバーサルデザイン化			授業のユニバーサルデザイン化と個別最適化された指導を目標として、研究主任を中心として、授業改善に取り組んできた。誰にとっても過ごしやすい教室環境の整備、見通しを持って安心して授業に取り組むための支援等、生徒の視点に立ったきめ細やかな支援に全職員共通認識のもと取り組んできた。個別最適化された指導については、個々の特性を見極め、その特性に合わせた最適な支援方法を ICT の有効活用も含めて、今後、さらに研究を進めていきたい。		<ul style="list-style-type: none"> ・勉強について計画を立て、実施していると答えた生徒、前年比+10%。このことは「学び」の方向性が高いと思いますので、このまま、授業・指導を進めてほしいです。 ・「生活アンケート」「授業アンケート」のほとんどの項目で生徒の高い評価が出ていることはすばらしいと思います。 ・保護者の皆様にも親身に対応されていると聞いています。教育活動に特に問題はないと思います。 ・地域の特色にご注意いただき、取り組んでくださる様子に頭が下がります。 ・「いじめ・体罰調査」の項目に対して「ある」と回答した生徒が気になります。学校の対応方針にも記載されていますので、実態や状況を分析し、よい方向に進めていただきたいと思っています。 ・「生活アンケート」の自発的な挨拶では、少し評価が下がっているのが気がかりです。自発的な挨拶は、良好な人間関係につながることで大切にしたいと思っています。 ・学習時間の確保の大切さを、日々の授業で認識を高めてほしいと思っています。 ・地元の中学生のために力になりたいと思っている地域の人はとても多いです。もう少し CS はじめ、地域との協働を進めていただければと思います。
		○友と ・相手意識のある発信 ・生徒が話し合える授業 ・発表機会の充実			聞くスキル、話すスキル、話し合いのスキル、発表のスキルを、開田中の標準スタイルとして、どの授業でも位置づけていくように、全校学習オリエンテーションでの方向付け、表現の時間での確認、全校道徳の時間での実践を積み重ねてきた。各教科の授業で、生徒同士の話し合いを授業に取り入れているが100%であり、主体的で、対話的な学びが開田中のスタイルとして位置づいてきた。		
		○開け ・自ら学ぶ ・自発的な学びを支える家庭学習への支援 ・教師力向上のための研修			本年度は、自ら学ぶ、自律した学習者を目指すための家庭学習の支援、授業と家庭学習の一体化を目標に取り組んできた。生徒の自己評価から、「わからないことを質問したり、調べたりして、理解するようにしている」(84.2%)、「自分で計画を立てて勉強している」(52.6%)と、支援の成果も表れてきている。「自ら、見通しを持って、計画を立てて学習する力をつける」ことが今後の課題となるので、今年度の反省をもとに、具体的な改善策を立て実践にうつしていきたい。		
評価区分	評価項目	生徒	職員	保護者	評価	成果と課題	改善策
学校運営	学校経営方針とランドデザインに基づき、重点目標に沿った教育活動をしているか		A	A	A	年度当初の参観日における全校の保護者への校長講話や、毎月学校だより等により学校経営方針やランドデザインについて発信し、生徒や保護者、教職員、地域と共有しながら教育活動を行うことができた。	学校経営方針やランドデザインについて、学校評価アンケートや世の中の実情に合わせて作成し、校長講話や学校だより等を通して発信していく。また、地域とのつながりを大切に活動も、継続して行っていきたい。職員研修は、今年度行ってきた互いの授業を見合う研修を、更に充実させていく。
	教職員は、自ら研究と修養に取り組んでいるか		A		A	県総合教育センターの研修や、生徒理解や生徒支援に関する研修などに積極的に参加している。また、校内でお互いの授業を参観し合い、授業の反省やアドバイスをし合う様子も日常的に見られる。	
	地域の特色を生かした教育活動を取り入れ、実施しているか		A	A	A	開田地域に伝わるコチャ節を、開田八人衆の方にご指導いただき、郡の合同音楽会において全校で発表することができた。また、地域の大家さんを招いての授業等、地域との関わりを大切にしながら実践してきた。	
学習指導	開始・終了時間の厳守や話している人の方を向いて話を聞くなどの学習規律が身についている	A	A		A	時間を守ることや話の聞き方など学習規律は、年度当初の学習オリエンテーションや日々の授業での積み重ねを通して定着している。90%以上の肯定的評価であるが、引き続き継続的な指導を行っていく。	本年度の重点目標として、「学び」「友と」「開け」がある。この目標をもとに、教室環境の整備や授業の流れの掲示、聞くスキルや話すスキルの育成、話し合える授業の実践を行ってきた。年度当初のオリエンテーションで、聞くスキル、話すスキル、話し合いのスキル、発表のスキルのオリエンテーションを行い、学期に1回の表現の時間での再確認、月に1回の全校道徳での実践をモデルとして、各教科でも取り組み、話し合える授業、相手意識のある発信が本校のスタイルとして定着してきている。個別最適化された指導については、個々の発達特性の違う生徒に対応できるように、ICT の有効活用も含めて、さらに研究を積み重ねていきたい。家庭学習の支援については、やらされる学習から、自律した学習者を育てることを目標に支援を工夫している。本年度、自分で計画を立てて勉強をしていると答えた生徒が60%と、前年度+10%となっているのは、成果である。
	授業で「見通し」をもって学習に取り組むことができてきている	A	A		A	各教科で学習問題や学習課題の提示や、本時の流れを示し、生徒が見通しをもって学習に取り組めるように支援を行ってきた。個々の学習ペースの違いにも配慮しながら支援を継続していきたい。	
	教室環境を整えたり、授業の流れを示したりしながら授業を行っている	A	A		A	授業のユニバーサルデザイン化を目標に、誰にとっても過ごしやすい教室環境づくりを、研究主任の提案のもと実践してきた。今後、書字が苦手な生徒への ICT の有効な活用等、研究・実践していく。	
	自分の考えを相手に伝えるように発信することを心がけている	B	A		B	個で考える→グループで考える→全体発表する、という流れを大切にしながら、自分の考えを発信する機会を授業の中に設定してきた。教師の取り組みの向上を生徒の自己評価の向上につなげていきたい。	
	生徒同士の話し合いが授業の中に取り入れられているか	B	A		B	主体的で対話的で深い学びの実現を目標に、全校道徳の授業等をモデルに、生徒同士が話し合える授業実践に取り組んできた。教師の取り組みの向上を生徒の自己評価の向上につなげていきたい。	
	道徳や御嶽タイムの内容や指導の仕方に工夫があるか	A	A		A	御嶽タイムでは、開田こども園、開田デイサービスセンター、木曾養護学校との交流の中で相手意識を持って工夫して交流を深めようとする取り組みができた。道徳では教師が教材を工夫しながら授業実践を行えた。	
	授業の終わりに「振り返り」を位置づけ、学習内容をまとめているか	B	A		B	余裕を持って1時間の授業を終わらせ、ノートやプリントの片付けも含めて振り返りの時間とし、学習内容をまとめるように支援してきた。整理・整頓が苦手な生徒への支援方法を具体的にしながら、支援にあたっていく。	
	家庭学習への指導により、個々の取組を高め、学力をつけているか	B	B	C	B	週の学習計画表や、小テストに向けて計画を工夫したりと支援を行ってきた。自律した学習者に向けての支援を実践していきたい。家庭での学習習慣の保護者評価も、肯定的評価が昨年度比+8.3%と伸びている。	
生徒指導	教職員は生徒に寄り添い、生徒の悩み事などに親身に対応しているか	B	A	B	B	生徒指導主事、特別支援教育コーディネーター、養護教諭、校長、教頭で、生徒の様子や支援の方向を検討する会を週に1回位置づけてきた。生徒や家庭の困っている状況に寄り添った支援を大切に継続していく。	職員間で連携をとりながら生徒の状況をつかみ、状況によって、スクールカウンセラーや関係機関とも連携をとりながら、生徒と家庭に寄り添った支援を行っていく。挨拶については、大人が率先して行うことで、生徒にも自分からという意識を高めていきたい。
	挨拶を励行し、気持ちのよい挨拶が交わされているか	B	A	C	B	職員から率先して挨拶を行うことを心がけてきている。自分から挨拶をするというところに課題は残るが、生徒の評価も70%、保護者の評価も65%と肯定的評価が高くなってきている。	
安全	施設管理や健康、安全への指導により、安全な学校生活を送ることができているか		A	A	A	毎月安全点検日を設け校内施設の点検を行ったり、コロナウイルス感染症感染防止に向けての対応を行ってきており、安全な学校生活となるように配慮している。引き続き、安心・安全な学校づくりを行っていく。	生徒の安心安全な学校生活のため、アンテナを高くして、的確な状況把握と迅速な対応をしていく。
地域との連携	学校だよりや学級通信等で教育活動の様子を積極的に知らせているか			A	A	学校だよりを月1回発行し、学校生活の様子や校長講話の内容等を家庭や地域に発信してきた。本年度より、学校 HP にも学級通信を掲載している。学級通信も毎週発行し、学校の様子を伝えてきており継続していく	画像をできるだけ多く取り入れ、視覚的にもわかりやすい通信を心がけ、家庭や地域に発行していく。

※数値は、学校評価アンケートにおける1学期と2学期の比較や昨年度の数値との比較。「評価」は、学校評価アンケート該当項目の数値平均を90%以上:A, 70~90%:B, 40~70%:C, 0~40%:Dとした。